

除染事業の実施状況

楢葉町本格除染工事

前田建設工業株式会社

1. 除染事業の概要

平成24年度檜葉町除染等工事

前田・鴻池・大日本土木JV

H24.7.25~H25.9.30

最大作業員数 約3,000人(2,600人)

延べ人数 415,000人

項目	数量	進捗	項目	数量	進捗
対象面積	1420ha	—	森林	370ha	(80%)
建物	3,660棟	(70%)	道路	86ha	(15%)
農地	465	(80%)	仮置場	13ヶ所	—



平成24年度檜葉町除染等工事(その2)

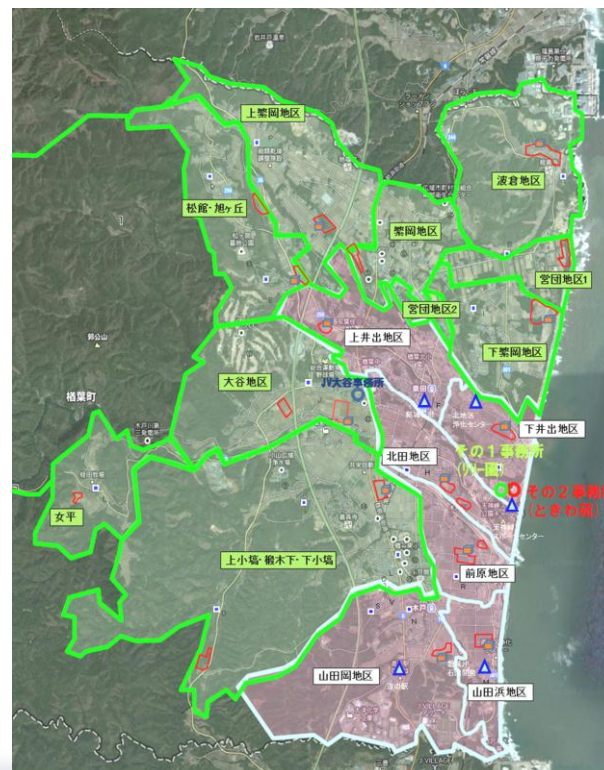
前田・鴻池・大日本土木JV

H25.3.5~H26.3.28

最大見込み作業員数 約2,000人(700人)

延べ人数 31,000人

項目	数量	進捗	項目	数量	進捗
対象面積	830ha	—	森林	163ha	(4%)
建物	1123棟	(7%)	道路	82ha	(0%)
農地	236ha	(6%)	仮置場	8ヶ所	—



2. 作業員の教育

定期教育プログラム

以下のフローに示す内容の教育を継続的に実施。
人数が多いため、毎日100人規模の教育会を開催。
(延べ人数で15,000人以上の教育を実施)

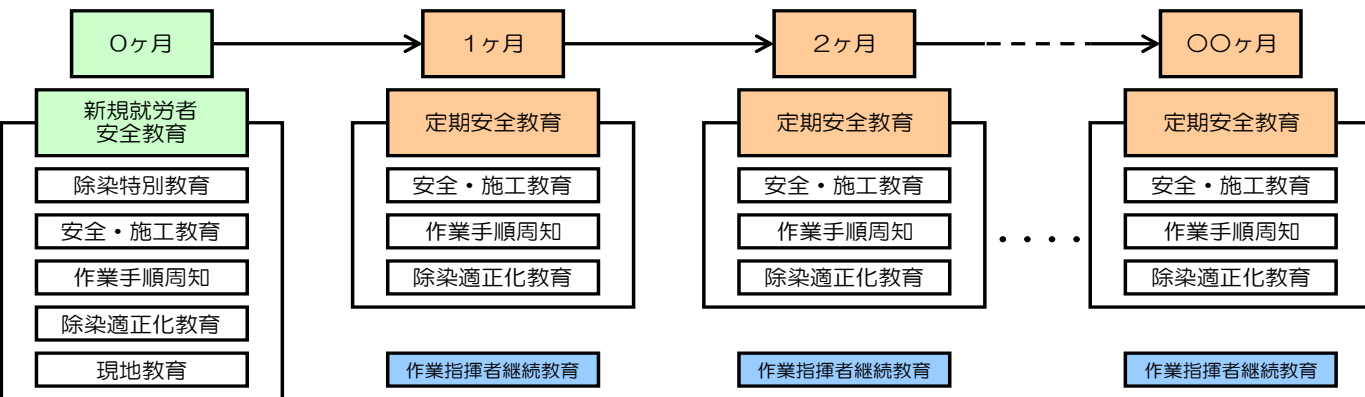
安全専従組織の設置と各種パトロール

安全と除染作業の適正化の専門組織として安全専従組織を設置。安全専従員によるパトロールを毎日実施。本支店によるパトロールも定期的にも実施している。



【大谷事務所での教育状況】

【作業員教育の流れ】



【安全専従員によるパトロールの流れ】



除染十戒

1. 水を使う時の対策はよいか
2. 川への流出および飛散防止措置はよいか
3. 同意書の確認はよいか
4. 身分証明書、ガラスバッチの携帯はよいか
5. マスク、手袋の装備はよいか
6. 予定外作業のハウレンソウは周知しているか
7. 個人情報の取扱いはよいか
8. 墜落への備えはよいか
9. 住民から誤解を受ける行動はとっていないか
10. 住民に寄り添った除染を心掛けているか

3. 施工手順順守の仕組み（管理体制）

作業手順書周知会の開催

手順書の改訂時には必ず全員参加の周知会を開催する。

周知には、その1、その2工事共通の作業手順書を用いる。

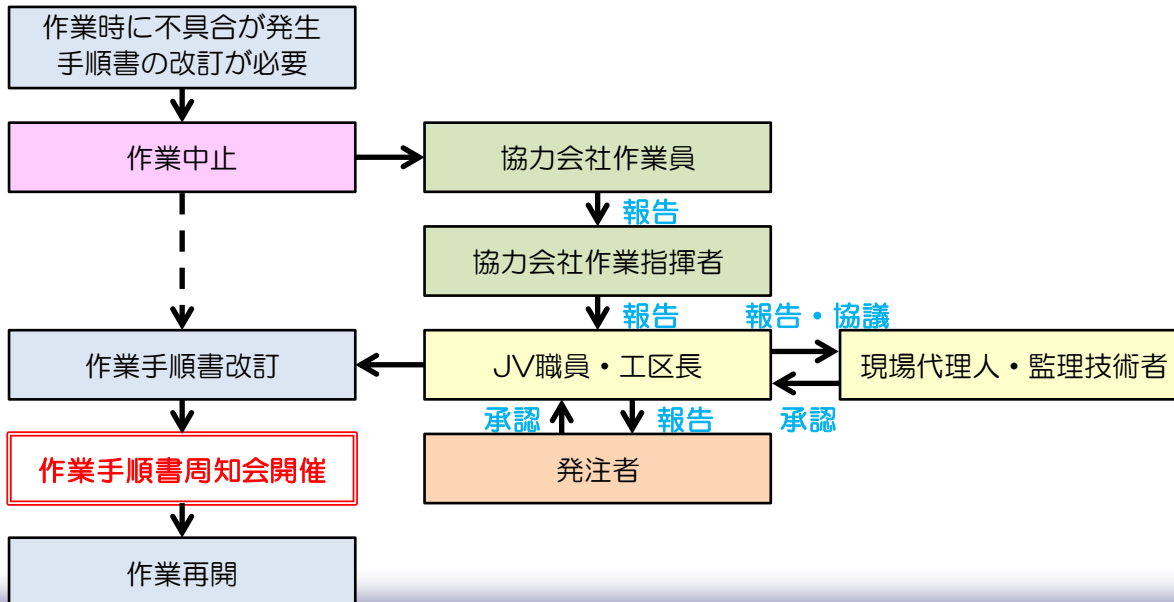
手順改訂方法のルール化

作業手順変更時のフローを明確化し、手順にない作業を防止する。

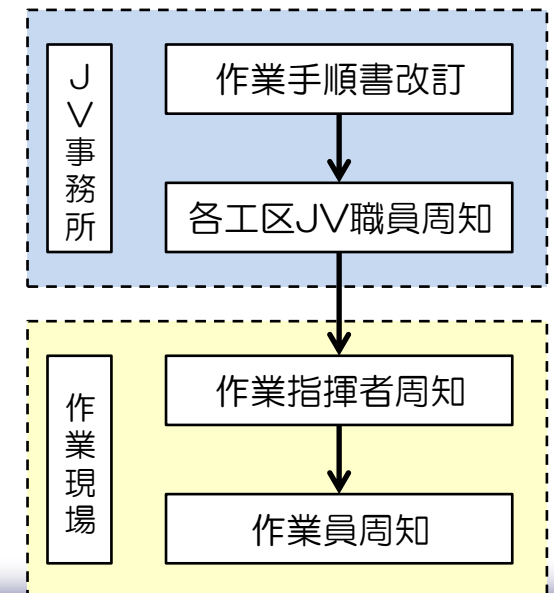
定期教育

定期教育時の作業手順の再周知により、作業内容についての理解を深める。

【作業手順改訂時のフロー】



【通常の作業手順周知のフロー】



4. 地元とのコミュニケーション

ホームページ・かわら版

施工状況や進捗等の情報公開の一環として、『ホームページ』の公開と、町と共同で作成する『かわら版』を配布（かわら版は、9版まで発行）

コールセンター

町民の方々の疑問や苦情の対応のため、住民の方々の大半が避難されているいわき市内にコールセンターを開設。



コールセンター（いわき市）



ホームページ



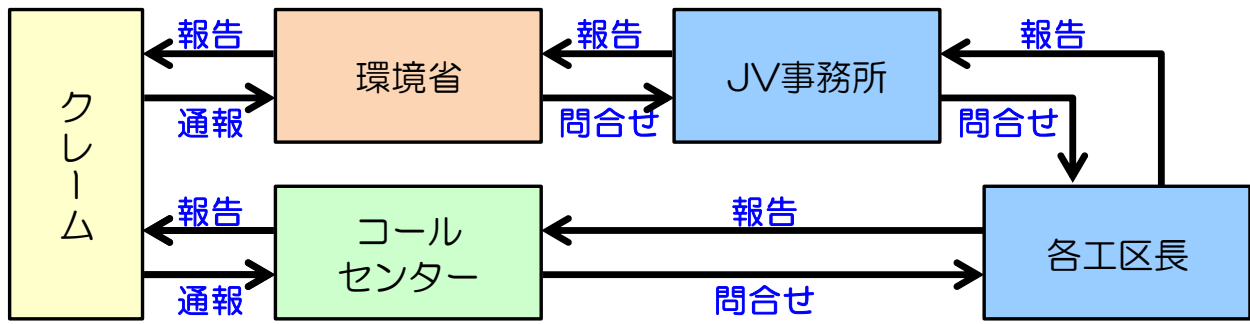
かわら版

5. その他

通報があった場合の対応

クレーム等の通報時には、以下のフローに基づき、各工区に事実確認を行い、迅速に対応する。

【通報時の対応フロー】



工事連絡会の開催

再生事務所、楡葉町、富岡労働基準監督署、双葉警察、消防署、及び当企業体で工事連絡会を定期的で開催し、進捗確認と情報交換を実施

青色防犯パトロール

福島県警OBの当社職員を中心に防犯パトロールを実施（H24.12.28感謝状を受領）

